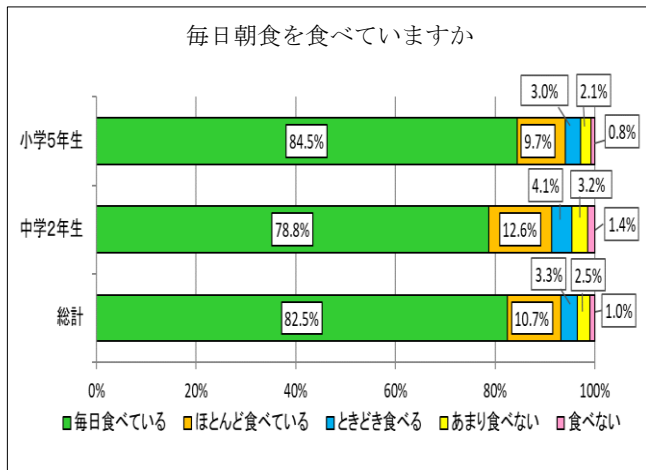
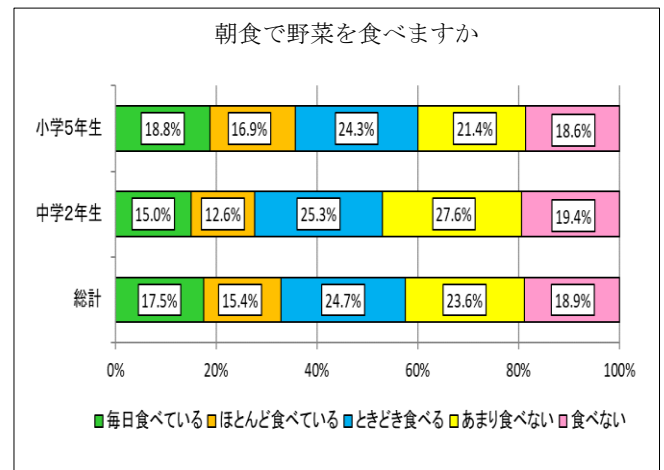


IV 重点課題に沿った研究

◎「朝食に野菜を食べよう」



【図1 朝食摂取状況の割合】



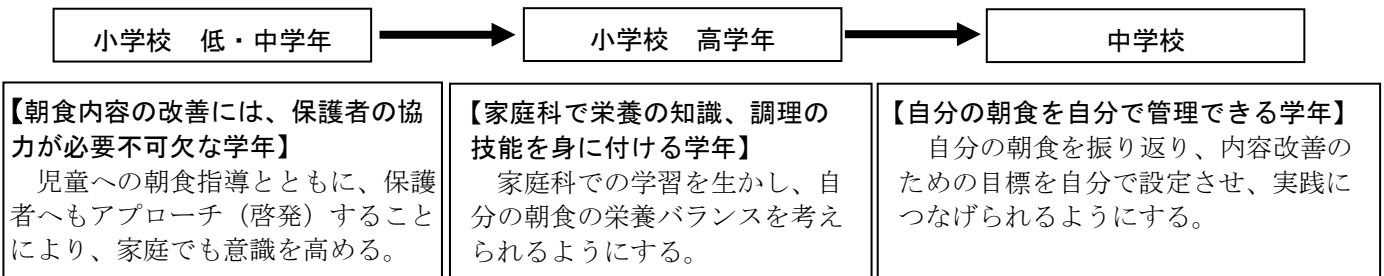
【図2 朝食で野菜を食べる割合】

令和元年度 愛知県教育委員会資料より

「平成30年度児童生徒の食生活調査（県教育委員会）」の結果では、朝食を「毎日食べている」「ほとんど食べている」と答えている児童（小学5年生）はあわせて94.2%、生徒（中学2年生）は91.4%であった（図1）。また、朝食に野菜を「毎日食べている」「ほとんど食べている」と答えた児童（小学5年生）はあわせて35.7%、生徒（中学2年生）は27.6%であった（図2）。「あいち食育いきいきプラン2020」をふまえ、本協議会では、「朝食で野菜も食べよう」を重点課題と定め、各校において指導を実施している。

発達段階に応じた教科等に関連した食に関する指導実践例（犬山市）

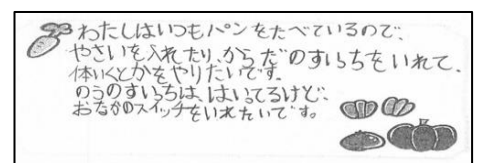
児童生徒の実態を踏まえ、小学校低・中学年、小学校高学年、中学校のそれぞれの段階に目標を設け、発達段階に応じた授業実践を行った。



A小学校では、2、3年生の2年間継続して授業実践を行った。2年生は生活科の野菜栽培で野菜への関心が高まっている。この授業では、生活科で学習した野菜を題材に取り上げ、野菜のはたらきと朝食での野菜摂取の必要性を関連付けた。3年生では、学級活動で給食を題材にし、朝食の栄養バランスについて考える授業を行った。さらに、家庭でも朝食の意識が高まるよう、夏休みに生活チェックを行い朝食の状況を保護者にも確認してもらった。



【小学校低学年の授業の様子】



【指導後の児童の振り返り】



【給食だより】

犬山市の健康推進事業と連携し、「朝食を食べようキャッチフレーズ 元気源、ワンだふる朝ごはん」と題した給食だよりを発行した。簡単朝ごはんレシピを掲載したことにより、保護者の朝食作りの意欲を高めることができた。